

3月28日(土)

A会場

- 9:10 A01 新規蛍光プローブ「Eprobe」を用いた殺虫剤抵抗性関連 SNPs の検出
○駒形 修, 小川浩平, 糸川健太郎, 葛西真治, 富田隆史
- 9:22 A02 チカイエカのピリプロキシフェン抵抗性
糸川健太郎, 葛西真治, 駒形 修, 小川浩平, ○富田隆史
- 9:34 A03 ネットアイシマカのペルメトリン解毒代謝酵素に関する QTL 解析
○小川浩平, 糸川健太郎, 駒形 修, 葛西真治, 富田隆史
- 9:46 A04 ガーナ共和国のネットアイシマカ個体群からアフリカ大陸初の電位依存性ナトリウムチャンネルのミューテーション (*kdr*) が発見された
○川田 均, 邑並祐人, 川島恵美子, 比嘉由紀子, Joseph HN Osei, Samuel Dadzie, Maxwel Appau, 鈴木高史, 太田伸生, 皆川 昇
- 9:58 A05 LAMP法による G119S Ace1R 変異検出法の開発と西アフリカ-ブルキナファソ採集ガンビアハマダラカでの検証
アタナセ バドロ、瀨瀬摩美、○福本晋也
- 10:10 A06 家庭用液体式蚊取りの蚊成虫に対する屋内への飛来抑制効果
○東 邦昭, 中村岳史, 武藤敦彦
- (休憩)
- 10:40 A07 マラリア媒介蚊 *Anopheles stephensi* の幼虫期の環境が、成虫の繁殖、生存、ネズミマラリア原虫感受性に与える影響
内田 結, ○都野展子, 伊従光洋, 吉田栄人
- 10:52 A08 フィールド採集ハマダラカからの等温遺伝子増幅法による熱帯熱マラリア原虫検出法の検討
○曾賀 晃, アタナセ バドロ, 瀨瀬摩美, 福本晋也
- 11:04 A09 ツェツェバエ defensin 分子のハマダラカでの発現
和田良樹, 山本大介, 炭谷めぐみ, 松岡裕之, 太田伸生, ○鈴木高史
- 11:16 A10 ハマダラカにおける TALEN 法を利用した *kmo* 遺伝子ノックアウト
○山本大介, 炭谷めぐみ, 畠山正統, 松岡裕之
- 11:28 A11 抗蚊唾液抗体価を用いたマラリア疫学調査の新規評価法の開発 -インドネシア介入試験時の季節的変動-
○伊従光洋, 藤吉里紗, Din Syafruddin, 吉田栄人
- 11:40 A12 イナトミシオカにおける鳥類マラリア原虫スポロゾイトの初報告
○金 京純, 津田良夫

(休憩)

- 13:00 A13 日本各地におけるデング熱流行リスクの量的評価に向けて
○砂原俊彦, 大木美香
- 13:12 A14 都内で発生したデング熱における媒介蚊対策
○井口智義, 田部井由紀子, 金子雅信, 武藤千恵子, 矢野一成, 楠くみ子, 石上 武,
高橋久美子, 市川めぐみ, 辻 麻美, 灘岡陽子, 保坂三継, 中江 大
- 13:24 A15 デング熱対策にはヒトスジシマカ発生源の除去が肝要
○上村 清, 竹上 勉
- 13:36 A16 2014年に東京都内で捕集されたヒトスジシマカのデングウイルス保有状況調査
○伊澤晴彦, 小林大介, 糸川健太郎, 津田良夫, 前川芳秀, 小川浩平, 佐々木年則,
江尻寛子, 駒形 修, 富田隆史, 林 利彦, 小林睦生, モイメンリン, 小滝 徹, 高
崎智彦, 沢辺京子
- 13:48 A17 南東アフリカにおける都市型ネッタイシマカの集団構造：デング熱流行地域の集団
は遺伝的に異なる
○二見恭子, E. Fonzi, 胡 錦平, 比嘉由紀子, A. Abílio, M. Lázaro, S. Gowelo, D. Pemba, S.
Ngonda, A. Mweene, 澤 洋文, M. Zimba, 皆川 昇

14:20 – 15:40 緊急シンポジウム

市民講座：70年ぶりのデング熱国内流行と将来予想

座長 沢辺京子（国立感染研・昆虫医科学）

- S1 国内デング熱の臨床 ～当院での診療経験を交えて～
忽那賢志, 加藤康幸, 大曲貴夫（国立国際医療研究センター, 国際感染症センター）
- S2 2014年のデング熱発生状況と疫学的特徴
島田智恵（感染研・感染症疫学センター）
- S3 ヒトスジシマカの生息密度調査に基づくデング熱感染リスク評価と媒介蚊対策
津田良夫（感染研・昆虫医科学部）

15:50 – 17:20 シンポジウム I

吸血昆虫の高度な生存戦略－唾液に含まれる生理活性物質の探索－

座長 吉田栄人（金沢大学・薬学系）

- S4 血管外吸血を支えるマダニ唾液腺物質
辻 尚利（北里大学・医学部）
- S5 サシチョウバエ唾液由来の新規生理活性物質の探索
加藤大智（北海道大学・大学院獣医学研究科）
- S6 マラリア媒介蚊唾液由来 AAPP の抗血小板凝集阻害活性の機能解析
伊従光洋（金沢大学・薬学系）

（休 憩）

17:30 – 18:00 大会長講演

- T1 トランスジェニック蚊 –新たなマラリアベクターコントロールに向けての挑戦–
吉田栄人（金沢大学・薬学系 ワクチン・免疫科学研究室）

B 会場

- 9:20 B01 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者が発生した地域の植生の特徴
○小林睦生，前川芳秀，山内健生，野田伸一，二瓶直子，沢辺京子
- 9:32 B02 環境の異なる地域におけるマダニ相および植生解析
○佐藤智美，山内健生，林利彦，前川芳秀，小川浩平，佐々木年則，小林睦生，糸山享，沢辺京子
- 9:44 B03 SFTS 対策に向けたマダニ類の全国調査
○沢辺京子，山内健生，橋本知幸，野田伸一，渡辺 護，平林公男，楢田龍星，前田健，岩永史朗，安藤勝彦，鎮西康雄，佐藤智美，前川芳秀，林 利彦，佐々木年則，小林睦生
- 9:56 B04 北近畿日本海側でみたダニ媒介感染症－SFTS, 紅斑熱また恙虫病の感染環調査 2014 年－
○高田伸弘，夏秋 優，石畝 史，藤田博己，宇田晶彦，山本正悟，御供田睦代，佐藤寛子，矢野泰弘
- 10:08 B05 福井県定点調査地におけるマダニの季節的消長－重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の媒介サイクルの解明に向けて
○矢野泰弘，石畝 史，平野映子，大村勝彦，高田伸弘
- （休 憩）
- 10:36 B06 鳥取県、島根県、広島県におけるマダニ定点調査
○山内健生，石原貴子，沢辺京子
- 10:48 B07 静岡県の野生動物から得たマダニ類（Ixodidae）
○高田 歩，呉 東興，吉川 悠子，大橋 典男
- 11:00 B08 神奈川県および山梨県におけるマダニの発生活長調査事例
○橋本知幸，沢辺京子
- 11:12 B09 和歌山県の野生哺乳類における抗体調査からみたマダニ保有リケッチア属の感染状況
○藤田博己，鈴木和男，森田裕司，藤田信子
- 11:24 B10 京都市におけるマダニの季節消長およびリケッチアの検出
○鈴木周，小園紗希，伊藤亜希，岡本奈津実，藪智子，池永充宏，染谷梓，前田秋彦
- 11:36 B11 アカツツガムシ幼虫の実験的ヒト刺症例に対する免疫組織化学的所見
○高橋 守，三角仁子，高橋裕美，新井栄一，松本延幸

11:48 B12 2010年当科で経験したツツガムシ病
○竹之下秀雄, 門馬直太, 藤田博己

(休憩)

13:00 B13 国内で捕集されたマダニから分離されたオルビウイルスの性状解析
○江尻寛子, 伊澤晴彦, 林 昌宏, 小滝徹, 高崎智彦, 林 利彦, 佐々木年則, 小林睦生, 西條政幸, 沢辺京子

13:12 B14 栄養摂取が誘導するマダニの生殖制御機構の解明
荻原麻理, 手島悠之, 本田 洋, ○DeMar Taylor

13:24 B15 チマダニ類 2 種の数種殺虫剤に対する残渣接触試験結果
○皆川恵子, 武藤敦彦, 山内健生

13:36 B16 2014年のマダニ刺症に関する検討
夏秋 優

13:48 B17 マダニ刺症と間違えられたミツバチ刺症の 1 例
○角坂照貴, 長岡史晃, 秦 舞子

C 会場

9:20 C01 佐渡島および屋久島からのサシチョウバエの (Diptera: Psychodidae, Phlebotominae) 初記録
○三條場 千寿, 山内 健生, 松本 芳嗣

9:32 C02 エクアドル・アンデス地域でリーシュマニア原虫を媒介するサシチョウバエ *Lutzomyia ayacuchensis* の垂直分布
○加藤大智, Eduardo A. Gomez, 三森龍之, 橋口義久

9:44 C03 中国海南島のサシバエ (予報)
○楊 超, 佐々木均

9:56 C04 マレーシア産センチニクバエ属の 1 新種
○倉橋 弘, Siew Hwa Tan, Moi Ung Leh

10:08 C05 福島第一原発事故による放射性セシウムハエ類 (イエバエ科、クロバエ科) への蓄積・汚染: 14 km 地点の牧場における 2013-2014 年の調査結果
○岩佐光啓, 石川慎一郎

(休憩)

10:40 C06 日本産 *Culicoides* 属ヌカカ体内でのアカバネウイルスの増殖性
○梁瀬 徹, 加藤友子, 白藤浩明, 田中省吾

- 10:52 C07 能登半島輪島市三蛇山北斜面と男女滝で採集されたアブ
渡辺 護
- 11:04 C08 北海道清里町のアブー24年でどう変わったかー
○佐々木均, 前中裕登, 菊地修平, 高橋健一
- 11:16 C09 東日本におけるニッポンシロフアブ発生数の減少
白石昭彦
- 11:28 C10 First report of seasonal biodiversity of black-fly (Diptera: Simuliidae) and
evaluation of ecological factors influencing on species distribution at Doi
Phahompok, Thailand
○Wichai Srisuka, Hiroyuki Takaoka, Yasushi Otsuka, Masako Fukuda, Sorawat
Thongsahuan, Wej Choochote, Atiporn Saeung
- 11:40 C11 *Simulium (Simulium) murudense* and *Simulium (Simulium) cheedhangi*, new
species of black flies obtained from Mount Murud, Sarawak, Malaysia
○Chee Dhang Chen, Hiroyuki Takaoka, Zubaidah Ya'cob, Mohd Sofian-Azirun
- (休 憩)
- 13:00 C12 日本に生息するオガサワラゴキブリの種の検討
○小松謙之, 川上 泰, 坂西梓里, Hong-Kean Ooi, 内田明彦
- 13:12 C13 インドキサカルブ含有ベイト剤「アドビオン®LS ジェル」のヒドラメチルノン抵抗
性チャバネゴキブリに対する殺虫効果
○富岡康浩, 木村悟朗, 田近五郎, 谷川 力
- 13:24 C14 低温がチャバネゴキブリに及ぼす影響
○木村悟朗, 副島鮎子, 秋山孝洋, 川上 泰, 谷川 力
- 13:36 C15 水死殺虫の基礎データ、特に泡の効果
○辻英明, 前田浩志

石川県政記念 しいのき迎賓館

19:00 – 21:00 懇親会